# 写真管理基準

改訂:令和7年4月	現行:平成28年7月	改訂理由
また、写真を映像と読み替えることも可とする。  1-2 工事写真の分類 工事写真は以下のように分類する。 着手前及び完成写真(既済部分写真等を含む) 施工状況写真 安全管理写真 使用材料写真 工事写真 出来形管理写真 出来形管理写真 当質管理写真 当次言写真 事故写真	影〜提出)に適用する。	映像記録について 追記
2-1 撮影頻度 工事写真は、撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。 2-2 撮影方法 写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。 ① 工 事 名 ② 工 種 等 ③ 測点(位置) ④ 設計 寸法 ⑤ 略 図 小黒板の判読が困難となる場合は、「デジタル写真管理情報基準」に規定する写真情報(写真管理項目-施工管理値)に必要事項を記入し、整理する。 また、特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。	2. 撮影 2-1 撮影頻度 工事写真は、撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。 2-2 撮影方法 写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。 ① 工 事 名 ② 工 種 等 ③ 測点(位置) ④ 設計 寸 法 ⑤ 実 測 寸 法 ⑥ 略 図 小黒板の判読が困難となる場合は、「デジタル写真管理情報基準」に規定する写真情報(写真管理項目・ 加工管理値)に必要事項を記入し、整理する。 また、特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。 なお、施工管理データを搭載したトータルステーションによる出来形管理を行う場合は、上記の④~⑥を省略しても良い。	

改訂:令和7年4月	現行:平成28年7月	改訂理由
2-3 情報化施工及び3次元データによる施工管理 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の 撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。 また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真 の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。		3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の策定による改定。
工事写真は以下の場合に省略する。 (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略する。 (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略する。 (3) 監督職員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略する。臨場時の状況写真は不要。	2-3 写真の省略 工事写真は以下の場合に省略する。 (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略する。 (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略する。 (3) 監督職員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略する。 2-4 写真の編集等 写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。	
2-6 撮影の仕様 写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。 (1) 写真はカラーとする (2) 有効画素数は小黒板の文字が判読できることを指標とする。(100万画素程度~300万画素程度=1,200×900程度~2,000×1,500程度) 映像と読み替える場合は、以下も追加する。 (3) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。 (4) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、工事監督員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムプラス映像を撮影することができる。		映像記録について 追記
撮影箇所一覧表の適用について、以下を留意するものとする。 (1)「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。 (2) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法(上墨寸法含む)が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。 (3) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図(撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など)を参考図として作成する。 (4) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員と写真管理項目を協議のうえ取り扱いを定め	のとする。 (2) 施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。 (3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法(上墨寸法含む)が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。 (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図(撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など)を参考図として作成する。	

改訂:令和7年4月	現行:平成28年7月	改訂理由
3. 整理提出 撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子媒体に格納し、監督職員に提出するものとする。 写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法(各種仕様)は「デジタル写真管理情報基準」に基づくものとする。	3. 整理提出 撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子媒体に格納し、監督職員に提出するものとする。 写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法(各種仕様)は「デジタル写真管理情報基準」に基づくものとする。(デジタル写真管理情報基準の写真管理項目にある「提出頻度写真」とは撮影箇所一覧表の「整理条件」に該当する写真をいう。)	
<ul><li>4. その他 撮影箇所一覧表の整理条件の用語の定義</li><li>(1) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要 小限の箇所や枚数のことをいう。</li></ul>	<ul> <li>4. その他 撮影箇所一覧表の用語の定義</li> <li>(1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。</li> <li>(2) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要 小限の箇所や枚数のことをいう。</li> <li>(3) 不要とは、デジタル写真管理情報基準の写真管理項目にある「提出頻度写真」に該当しないことをいう。</li> </ul>	

X	<del>分</del>	写真管 撮影項目	·理項目 ┃ 撮影頻度〔時期〕	摘要	X	分	撮影項目	写真管理項目 撮影頻度〔時期〕	提出頻度	摘要	改訂理由
着手前・完成	着手前		着手前1回		着手前・完成	着手前		着手前1回	着手前		
			〔着手前〕					〔着手前〕	1枚		
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後1回			完成	全景又は代表部分写真	施工完了後1回	施工完了		
Marrie II No			〔完成後〕		Marra II No			〔完成後〕	後 1枚		
施工状況	工事施工中	全景又は代表部分の工事 進捗状況	月1回 [月末]		施工状況	工事施工中	全景又は代表部分の工事 進捗状況	月1回 [月末]	不要		
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図				施工中の写真	工種、種別毎に設計図			
		ルエイツテ英	書、施工計画書に従い施				ルエイツテ兵	書、施工計画書に従い施	適宜		
			創意工夫・社会性等に関 する実施状況が確認でき	創意工夫・社会性 等に関する実施状				創意工夫・社会性等に関 する実施状況が確認でき		創意工夫・社会性 等に関する実施状	
			るように適宜	況の提出資料に添付				るように適宜	不要	況の提出資料に添付	
			〔施工中〕					[施工中]		1 3	
	仮設(指定仮 設)	使用材料、仮設状況、形 状寸法	1施工箇所に1回			仮設(指定仮 設)	使用材料、仮設状況、形 状寸法	1施工箇所に1回	代表箇所		
			〔施工前後〕					[施工前後]	1枚		
	図面との不一 致	図面と現地との不一致の 写真		工事打合簿に添付 する。		図面との不一 致	図面と現地との不一致の 写真		不要	工事打合簿に添付 する。	3次元計測技術を用い た出来形管理要領
			〔発生時〕								(案)の策定による改 定。
			ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)における空中写真測量(UAV)」による場合は、撮影毎に1回(写真測量に使用したすべての画像(ICONフォルダに格納))								
			〔発生時〕								
			ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理と 領(案)における地上で 領(案)における地上 しーザースキャ動体 上 S)、地上移動体ナ 世上移動体禁型 し、ボースキャ型 と)、ボースキャ型 レーザーンが が、ボースキャン、 インレーザーン、 インンプリズ式、 ストー インンプリズ式、 ストー インンプリズス、 ストー インンプリズス、 ストー インンプリズス、 ストー インンプリズス、 ストー インンプリズス、 ストー インシー インシー インシー インシー インシー インシー インシー インシ								
			〔発生時〕								

		写真管	<b>押</b> 佰日	<u> </u>	1,7,7,7			写真管理項目	•	11 . 1/3/20 11/11	
番号	工種	撮影項目	程項目 撮影頻度 [時期]	摘要	番号	工種	撮影項目	サース	提出頻度	摘要	改訂理由
1	セメント・コンクリー	.,	コンクリートの種類毎に		1	セメント・コンクリー		コンクリートの種類毎に	不要	<del>                                     </del>	
	ト(転圧コンクリー	スランプ試験	1回			ト(転圧コンクリー	スランプ試験	1回			
	ト・コンクリートダ ム・覆エコンクリー	コンクリートの圧縮強度	[試験実施中]	圧縮強度試験に使		ト・コンクリートダ ム・覆エコンクリー	コンクリートの圧縮強度	[試験実施中]		圧縮強度試験に使	
	ト・吹付けコンクリー	試験		用したコンクリー トの供試体が、当		ト・吹付けコンクリー	試験			用したコンクリー トの供試体が、当	
	トを除く)			該現場の供試体で		トを除く) (施工)				該現場の供試体で	
	(施工)			あることが確認で きるもの						あることが確認で きるもの	
										G . 2 0 0 0	
		空気量測定	品質に変化が見られた場 合[試験実施中]				空気量測定	品質に変化が見られた場合[試験実施中]			
		コンクリートの曲げ強度		コンクリート舗装			コンクリートの曲げ強度	コンクリートの種類毎に		コンクリート舗装	
		試験	1回[試験実施中]	の場合適用			試験	1回[試験実施中]		の場合適用	
			品質に異常が認められた					品質に異常が認められた			
		コンクリートの洗い分析	場合 [試験実施中]				コンクリートの洗い分析	場合 [試験実施中]			
		試験					試験				
	セメント・コンクリー ト(転圧コンクリー	ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 [試験実施中] <mark>ただし、</mark>			セメント・コンクリー ト(転圧コンクリー	ひひ割れ調査	対象構造物毎に1回 「試験実施中]			3次元計測技術を用い た出来形管理要領
	ト・コンクリートダ		「3次元計測技術を用いた			ト・コンクリートダ					(案)の策定による改
	ム・覆エコンクリー		出来形管理要領(案)」により施工完了時の状況(全			ム・覆エコンクリー					定。
	ト・吹付けコンクリー トを除く)		周) の提出によりひび割れ			ト・吹付けコンクリートを除く)(施工後試					
	(施工後試験)		調査写真を代替することが できる。			験)					
		テストハンマーによる強 度推定調査	対象構造物毎に1回[試 験実施中]				テストハンマーによる強 度推定調査	対象構造物毎に1回[試 験実施中]			
		及在た両重 コアによる強度試験	テストハンマー試験によ				ファによる強度試験	研え他中」 テストハンマー試験によ			
		コノによる強反政策	り必要が認められた時				コノによる迅及政際	り必要が認められた時			
			[試験実施中]					[試験実施中]			
2	ガス圧接		検査毎に1回[検査実施		2	ガス圧接		検査毎に1回 [検査実施	不要		
		超音波探傷検査	中]				超音波探傷検査	中]			
3	既製杭工	外観検査	検査毎に1回 [検査実施		3	既製杭工		検査毎に1回 [検査実施	不要		
		浸透探傷試験 放射線透過試験	試験毎に1回 [試験実施中]				浸透探傷試験 放射線透過試験	試験毎に1回 [試験実施中]			
		超音波探傷試験	1 1				超音波探傷試験	1 1			
		水セメント比試験					水セメント比試験				
		セメントミルクの圧縮強					セメントミルクの圧縮強				
		度試験			<u> </u>	→ □ n/n 60.	度試験	H ASSIGNATION ASSISTANCE			
4	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回[試験 実施中]		4	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回[試験 実施中]	不要		
		プルーフローリング	   路盤毎に1回 [試験実施				プルーフローリング	路盤毎に1回 [試験実施			
			中]					中]			
		平板載荷試験	各種路盤毎に1回[試験				平板載荷試験	各種路盤毎に1回[試験			
		具++のとフェ、ハコスAWA	実施中]				□→→ の と フェ、ハ ェ1.3.1.5.1.5.1.5.1.5.1.5.1.5.1.5.1.5.1.5.	実施中]			
			品質に異常が認められた 場合[試験実施中]				骨材のふるい分け試験 土の液性限界・塑性限界	品質に異常が認められた 場合[試験実施中]			
		式験					工の似性限外・塑性限外 試験				
		含水比試験					含水比試験				
5	上層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回		5	上層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回	不要		
		粒度	[試験実施中]				粒度	[試験実施中]			
		平板載荷試験	知痴にトル田豊心知はさ				平板載荷試験	知索により田舎が知ける			
		土の液性限界・塑性限界 試験	観祭により異常か認めら れた場合				土の液性限界・塑性限界 試験	観祭により異常か認められた場合			
		含水比試験	[試験実施中]				含水比試験	[試験実施中]			
6	アスファルト安定処理	アスファルト舗装に準拠			6	アスファルト安定処理	アスファルト舗装に準拠		不要	<del>                                     </del>	
	路盤					路盤					

撮影	箇所一覧表(品質管	理)	【改	訂:令和7年4月】	撮影	箇所一覧表(品質管	理)		【現行	:平成28年7月】	
番号	工種	写真管	理項目	摘要	番号	工種		写真管理項目		摘要	改訂理由
	·	撮影項目	撮影頻度 [時期]	<b>间</b> 安			撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	<b>加安</b>	以前廷田
7	セメント安定処理路盤 (施工)	粒度	各種路盤毎に1回[試験 実施中]		7	セメント安定処理路盤 (施工)	粒度	各種路盤毎に1回[試験 実施中]	不要		
	()他工)	現場密度の測定					現場密度の測定				
		含水比試験	観察により異常が認められた場合[試験実施中]				含水比試験	観察により異常が認められた場合[試験実施中]			
			40亿物日[时候天旭门]					40亿物日[四次天)吧门]			
		セメント量試験	品質に異常が認められた				セメント量試験	品質に異常が認められた			
8	アスファルト舗装(プ	<u></u> 粒度	場合[試験実施中] 合材の種類毎に1回[試		8	アスファルト舗装(プ		場合[試験実施中] 合材の種類毎に1回[試	不要		
	ラント)		験実施中]		0	ラント)		験実施中]	个安		
		アスファルト量抽出粒度 分析試験					アスファルト量抽出粒度 分析試験				
		温度測定	1				温度測定	1			
		水浸ホイールトラッキン					水浸ホイールトラッキン				
		グ試験 ホイールトラッキング試					グ試験 ホイールトラッキング試	-			
		験					験				
		ラベリング試験					ラベリング試験				
		現場密度の測定	合材の種類毎に1回[試				現場密度の測定	合材の種類毎に1回[試	不要		
	設現場)	温度測定 外観検査	験実施中]				温度測定 外観検査	験実施中]			
		すべり抵抗試験	1				プト観快生 すべり抵抗試験				
9	転圧コンクリート(施	コンシステンシーVC試			9		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	コンクリートの種類毎に	不要		
	工)	験 マーシャル突き固め試験	1回[試験実施中]			工)	験 マーシャル突き固め試験	1回[試験実施中]			
		マーンヤル矢さ回の武駅					マーンヤル矢さ回め武駅				
		ランマー突き固め試験	1				ランマー突き固め試験	1			
		コンクリートの曲げ強度	1				コンクリートの曲げ強度	1			
		温度測定(コンクリー	コンクリートの種類毎に				試験 温度測定(コンクリー	コンクリートの種類毎に			
			1回[温度測定中]					1回[温度測定中]			
		現場密度の測定	コンクリートの種類毎に				現場密度の測定	コンクリートの種類毎に			
1.0	F 7777 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	コアによる密度測定	1回[試験実施中]		10		コアによる密度測定	1回[試験実施中]	7 #		
	グースアスファルト舗 装(プラント)		合材の種類毎に1回[試 験実施中]		10	グースアスファルト舗 装(プラント)		合材の種類毎に1回[試 験実施中]	不要		
		リュエル流動性試験 240℃					リュエル流動性試験 240℃				
		ホイールトラッキング試	1				ホイールトラッキング試	1			
		験					験	]			
		曲げ試験 粒度					曲げ試験 粒度				
		<sup>松及</sup> アスファルト量抽出粒度					<sup>                                      </sup>				
		分析試験					分析試験				
	が コワココ コート	温度測定	↑++ゥ任叛左); 1 □ [34				温度測定	入社の任叛たに1回「計	<b>→</b> ##		
	グースアスファルト舗 装(舗設現場)	温度測定	合材の種類毎に1回[試 験実施中]			グースアスファルト舗 装(舗設現場)	温度側正	合材の種類毎に1回[試 験実施中]	不要		
11	路床安定処理工	現場密度の測定	路床または施工箇所毎に		11	路床安定処理工	現場密度の測定	路床毎に1回[試験実施	不要		諸基準類の改定
			1回[試験実施中] ただ し、「TS・GNSSを					甲」			に伴う修正
			用いた盛土の締固め管理								
			要領」による場合は、写 真管理を省略する								
			共日生で目哨りの								
		プルーフローリング	路床毎に1回 [試験実施				プルーフローリング	路床毎に1回[試験実施			
		平板載荷試験	中]				平板載荷試験	中]			
		現場CBR試験					現場CBR試験				
		含水比試験	降雨後または含水比の変 化が認められた場合[試				含水比試験	降雨後または含水比の変 化が認められた場合[試			
			験実施中]					験実施中]			
		たわみ量	プルーフローリングの不				たわみ量	プルーフローリングの不			
			良箇所について実施[試 験実施中]					良箇所について実施[試 験実施中]			

撮影	:箇所一覧表(品質管			(訂:令和7年4月】	撮影	箇所一覧表(品質管			【現行	行:平成28年7月】	
番号	工種	写真管		摘要	番号	工種		写真管理項目		摘要	改訂理由
留万	上作	撮影項目	撮影頻度 [時期]	100 万	留万	上作	撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	加安	以訂垤田
12	表層安定処理工(表層 混合処理)	含水比試験	降雨後または含水比の変 化が認められた場合[試 験実施中]		12	表層安定処理工(表層 混合処理)	含水比試験	降雨後または含水比の変 化が認められた場合[試 験実施中]	不要		諸基準類の改定 に伴う修正
		現場密度の測定	材質毎に1回[試験実施中]ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する				現場密度の測定	材質毎に1回 [試験実施中]			
		プルーフローリング	工種毎に1回[試験実施 中]				プルーフローリング	工種毎に1回 [試験実施 中]			
			材質毎に1回 [試験実施					材質毎に1回 [試験実施			
		現場CBR試験	甲」				現場CBR試験	甲」			
		たわみ量	プルーフローリングの不 良箇所について実施[試 験実施中]				たわみ量	プルーフローリングの不 良箇所について実施[試 験実施中]			
	固結工		材質毎に1回[試験実施 中]			固結工	土の一軸圧縮試験	材質毎に1回[試験実施 中]	不要		
14	アンカーエ	モルタルのフロー値試験			14	アンカーエ	モルタルのフロー値試験		不要		
		モルタルの圧縮強度試験	[武験美施甲]				モルタルの圧縮強度試験	[			
		多サイクル確認試験					多サイクル確認試験				
		1 サイクル確認試験					1 サイクル確認試験				
15	補強土壁工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中]		15	補強土壁工	現場密度の測定	土質毎に1回[試験実施 中]	不要		
16	吹付工(施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回 [試験実施		16	吹付工(施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回 [試験実施	不要		
		コンクリートの圧縮強度 試験	中]				コンクリートの圧縮強度 試験	中]			
		スランプ試験	品質に変化がみられた場	モルタルを除く			スランプ試験	品質に変化がみられた場		モルタルを除く	
		空気量測定	合[試験実施中]				空気量測定	合[試験実施中]			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた 場合[試験実施中]				コアによる強度試験	品質に異常が認められた 場合[試験実施中]			
17	現場吹付法枠工	コンクリートの圧縮強度	<b>配合年に1回「試験宝塩</b>		17	現場吹付法枠工	コンクリートの圧縮路座	配合毎に1回[試験実施	不要		
	グレクのウヘロ147十二	試験塩化物総量規制	中]		11	元勿八日4十二	試験塩化物総量規制	中]	17女		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた 場合[試験実施中]				コアによる強度試験	品質に異常が認められた 場合[試験実施中]			
			品質に変化がみられた場合[試験実施中]	モルタルを除く			スランプ試験 空気量測定	品質に変化がみられた場合[試験実施中]		モルタルを除く	
		ロックボルトの引抜き試	試験毎に1回[試験実施					試験毎に1回 [試験実施			
		騻	屮」				颖	中]			

	四川 克久 (四頁日	写真管		11 . [17] [17]		西川 克久 (四頁日		写真管理項目		1.   3,220   1711	
番号	工種	撮影項目	撮影頻度 [時期]	摘要	番号	工種	撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	摘要	改訂理由
	河川・海岸土工(施 工)	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施 中] ただし、「TS・G NSSを用いた盛土の締 固め管理要領」による場 合は、写真管理を省略す る		18 19	河川・海岸土工(施 工)	現場密度の測定	土質毎に1回[試験実施 中]	不要		諸基準類の改定 に伴う修正
		土の含水比試験	含水比に変化が認められ た場合[試験実施中]				土の含水比試験	含水比に変化が認められ た場合[試験実施中]			
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪 い場合[試験実施中]				コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合[試験実施中]			
20	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する		20	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中]	不要		諸基準類の改定
21	道路土工(施工)	現場密度の測定	士質毎に1回 [試験実施 中] ただし、「TS・G NSSを用いた盛土の締 固め管理要領」による場 合は、写真管理を省略す る		21	道路土工(施工)	現場密度の測定	土質毎に1回[試験実施 中]	不要		諸基準類の改定
		プルーフローリング	工種毎に1回 [試験実施 中]				プルーフローリング	  工種毎に1回 [試験実施  中]			
		平板載荷試験 現場CBR試験	土質毎に1回 [試験実施 中]				平板載荷試験 現場CBR試験	土質毎に1回 [試験実施 中]			
		含水比試験	降雨後または含水比の変 化が認められた場合[試 験実施中]				含水比試験	降雨後または含水比の変 化が認められた場合[試 験実施中]			
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪 い場合[試験実施中]				コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪 い場合[試験実施中]			
		たわみ量	プルーフローリングの不 良箇所について実施				たわみ量	プルーフローリングの不 良箇所について実施[試 験実施中]			
22	捨石工	岩石の見掛比重 岩石の吸水率 岩石の圧縮強さ 岩石の形状	産地又は岩質毎に1回 [試験実施中]		22	捨石工	岩石の見掛比重 岩石の吸水率 岩石の圧縮強さ 岩石の形状	産地又は岩質毎に1回 [試験実施中]	不要		
23	コンクリートダム(材 料)	アルカリシリカ反応対策	採取地毎に1回		23	コンクリートダム (材 料)		採取地毎に1回	不要		
	117	骨材の密度及び吸水率試験 骨材のふるい分け試験	[試験実施中]			T17	骨材の密度及び吸水率試験 骨材のふるい分け試験	[試験実施中]			
			砂質毎に1回[試験実施					砂質毎に1回[試験実施			
		モルタルの圧縮強度による砂の試験	中]				モルタルの圧縮強度による砂の試験	中]			

平口.	工任	写真管	理項目	松田	平口.	工経		写真管理項目		松田	ルシェル・
番号			撮影頻度 [時期]	摘要	番号	工種	撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	摘要	改訂理由
25	吹付けコンクリート (NATM)	塩化物総量規制 コンクリートの圧縮強度 試験	配合毎に1回[試験実施 中]	圧縮強度試験に使 用したコンクリー トの供試体が、当 該現場の供試体で あることが確認で きるもの	25	吹付けコンクリート (NATM)	塩化物総量規制 コンクリートの圧縮強度 試験	配合毎に1回[試験実施 中]	不要	圧縮強度試験に使 用したコンクリー トの供試体が、当 該現場の供試体で あることが確認で きるもの	
			品質に変化が認められた 場合[試験実施中] 品質に異常が認められた 場合[試験実施中]				空気量測定コアによる強度試験	品質に変化が認められた 場合[試験実施中] 品質に異常が認められた 場合[試験実施中]			
		吹付けコンクリートの初 期強度	トンネル施工長40mごと に1回								新工種追加
	ロックボルト(NAT M)	モルタルの圧縮強度試験 モルタルのフロー値試験	配合毎に1回[試験実施 中]		26	ロックボルト(NAT M)	モルタルの圧縮強度試験 モルタルのフロー値試験	中]	不要		
		ロックボルトの引抜き試 験					ロックボルトの引抜き試 験				
	路上再生路盤工(材料)	修正CBR試験 土の粒度試験 土の含水比試験 土の液性限界・塑性限界 試験	材料毎に1回[試験実施 中] -		27	路上再生路盤工(材料)	修正CBR試験 土の粒度試験 土の含水比試験 土の液性限界・塑性限界 試験	材料毎に1回[試験実施 中]	不要		
	路上再生路盤工(施工)	土の一軸圧縮試験 CAEの一軸圧縮試験	材料毎に1回[試験実施 中] -			路上再生路盤工(施工)	土の一軸圧縮試験 CAEの一軸圧縮試験	材料毎に1回[試験実施 中]			
28	路上表層再生工(材料)	含水比試験   旧アスファルト針入度   旧アスファルトの軟化点	材料毎に1回[試験実施 中]		28	路上表層再生工(材 料)	含水比試験   旧アスファルト針入度   旧アスファルトの軟化点	中]	不要		
	路上表層再生工(施工)	現場密度の測定 温度測定 かきほぐし深さ 粒度 アスファルト量抽出粒度 分析試験	材料毎に1回[試験実施 中]			路上表層再生工(施工)	現場密度の測定 温度測定 かきほぐし深さ 粒度 アスファルト量抽出粒度 分析試験	材料毎に1回[試験実施 中]			
29	排水性舗装工・透水性 舗装工(プラント)	粒度 アスファルト量抽出粒度 分析試験 温度測定 水浸ホイールトラッキン が試験 ホイールトラッキング試験 ホイールトラッキング試験 ラベリング試験 カンタブロ試験	合材の種類毎に1回[試 験実施中]		29	排水性舗装工・透水性 舗装工(プラント)	粒度 アスファルト量抽出粒度 分析試験 温度測定 水浸ホイールトラッキン が試験 ホイールトラッキング試験 ホイールトラッキング試験 ラベリング試験 カンタブロ試験	合材の種類毎に1回[試 験実施中]	不要		

7.1/2/2	/回// 克孜(叩貝日		理項目		1	四川 克狄 (叫貝目		写真管理項目		1.   1,00,000	
番号	工種	撮影項目	撮影頻度 [時期]	摘要	番号	工種	撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	摘要	改訂理由
20	排水性舗装工・透水性	, ,	PUNIX ANY FLATING		20	排水性舗装工・透水性		14VVIA AWVIA	不要		
29	舗装工(舗設現場)	現場透水試験	1		49	舗装工(舗設現場)	現場透水試験	1	小女		
		現場密度の測定	1 1				現場密度の測定				
0.0		外観検査	A 14 o 16 W (-) - 1 D [34		- 00	<b>プロン・ルエル45</b> サイフ	外観検査		<b>*</b> #		
30	プラント再生舗装工 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回[試 験実施中]		30	プラント再生舗装工 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回[試 験実施中]	不要		
		再生アスファルト量					再生アスファルト量				
		水浸ホイールトラッキン	1				水浸ホイールトラッキン				
		グ試験					グ試験				
		ホイールトラッキング試					ホイールトラッキング試				
		<sup>映</sup> ラベリング試験					映 ラベリング試験				
	プラント再生舗装工	外観検査				プラント再生舗装工	外観検査				
	(舗設現場)	温度測定				(舗設現場)	温度測定				
		現場密度の測定	1				現場密度の測定				
0.1	工場製作工		1 矮厚 1 同豆炒 1 工事厚		91	工場製作工		1 接に 1 同立は 1 工事に	<b></b>		
31	工 <u>场</u> 聚作工	外観検査	1橋に1回又は1工事に 1回〔現物照合時〕		31	上場聚作上 	外観検査	1橋に1回又は1工事に 1回〔現物照合時〕	不要		
		在庫品切出	当初の物件で1枚〔切出				在庫品切出	当初の物件で1枚〔切出			
			時〕※他は焼き増し					時〕※他は焼き増し			
		機械試験	1橋に1回又は1工事に				機械試験	1橋に1回又は1工事に			
		7.交7灭。此项大	1回 〔試験実施中〕				1茂1灰 时间火	1回 〔試験実施中〕			
32	ガス切断工	表面粗さ ノッチ深さ	試験毎に1回 [試験実施 中]		32	ガス切断工	表面粗さ ノッチ深さ	試験毎に1回 [試験実施 中]	不要		
		スラグ					スラグ	1 1			
		上縁の溶け	1				上縁の溶け				
		平面度	1				平面度				
		ベベル精度					ベベル精度				
		真直度	1				真直度	1			
33	溶接工	引張試験	試験毎に1回 [試験実施		33	溶接工	引張試験	試験毎に1回 [試験実施	不要		
		型曲げ試験	中]				型曲げ試験	中]			
		衝撃試験	1				衝撃試験				
		マクロ試験	{				マクロ試験				
		非破壊試験	{				非破壞試験				
		字合せ継手の内部欠陥に	<b> </b>				突合せ継手の内部欠陥に				
		会合せ継手の内部欠陥に 対する検査					突合せ継手の内部欠陥に 対する検査				
		外観検査					外観検査				
		曲げ試験					曲げ試験				
		ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となっ				ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となっ			
		ハンヾ一打挙政験	たスタッドジベルについ				ハンヾ一打挙訊映	たスタッドジベルについ			
			て[試験実施中]					て[試験実施中]			
34	中層混合処理	テーブルフロー試験	適宜								新工種追加
			[試験実施中]								
		土の一軸圧縮試験	材質毎に1回								
			[試験実施中]								
			これ そのインマル田 十日								

【第1編 共通編】 【改訂:令和7年4月】 【第1編 共通編】 【現行:平成28年7月】

				ماسا			写真管理項目	摘要		T			Lufa			写真管理項目		摘要	
編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]		編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件		改訂理由
1 共 通	2 土 工	3 河 川	2		掘削工	土質等の判 別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕		1 共 通	2 士 士		2	1	掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚		
編		・海岸				法長 ※右のいず れかで撮影	200m又は1施工箇所に1回 〔掘削後〕		編		海岸				法長 ※右のいずれ かで撮影す	200m又は1施工箇所に1回 〔掘削後〕			
		・砂防土工				する。	「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」に よる場合は1工事に1回 〔掘削後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状 況と出来形計測対 象点上のプリズム の設置状況(プリ ズムが必要な場合 のみ)がわかるよ うに撮影			・砂防土工				る。	「TSを用いた出来形管理要領 (土工編)」による場合は1工 事に1回 [掘削後]		・出来映えの撮影 ・TS等の設置状 況と出来形計測対 象点上のプリズム の設置状況(プリ ズムが必要な場合 のみ)がわかるよ うに撮影	3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
							「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案) 多 点計測技術(面管理の場 合)における空中写真測量 (UAV)および地上写真測 量」に基づき写真測量に用 いた画像を 納品する場合には、写真管 理に代えることが出来る。												3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
			3		盛土工	巻出し厚	200mに1回〔巻出し時〕					3	5	蓝土工	巻出し厚	200mに1回〔巻出し時〕	代表箇所 各1枚		
							「TS・GNSSを用いた 盛土の締固め管理要領」に おける「締固め層厚分布 図」を提出する場合は写真 不要												諸基準類の改定 に伴う修正
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる 毎に1回〔締固め時〕									転圧機械又は地質が変わる 毎に1回〔締固め時〕			

			1			1				_	_	_							
<i>t</i> ==	The state of	Fr-Fr-	k	枝	T. F.		写真管理項目	k <del>i</del>	li=	= +	fort-	R	枝	1 <del>.</del>		写真管理項目		letr me	7/.=++m_L
編	章	節	条	番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要	첾	章	節	条	番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	摘要	改訂理由
1共通編	2 土工	3河川・海岸・砂防土工			盛土工	法長幅 ※右のい撮影 する。	よる場合は1工事に1回 〔施工後〕	・出来映えの撮 影 ・TS等の設置状 況と出来形計測対 象点上のプリプリ の設置状必要ながわかるよ のみ)がわかるよ うに撮影	11 共通編編	生 土	3河川・海岸・砂防土工	3		盛土工	法長幅 ※右のいずれ かで撮影す る。	200m又は1施工箇所に1回 [施工後] 「TSを用いた出来形管理要領 (土工編)」による場合は 1 工事に1回 [施工後]		・出来映えの撮影 ・TS等の設置状 況と出来形計測対 象点上のプリズリ の設置状況(場合 のみ)がわかるよ うに撮影	3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。 3次元計測技術 を用いた出来 管理要領(案) の策定による改 定。
			5		(補強土(テール アルメ) 壁カ (多数工法) (がまままままままままままままままままままままままままままままままままままま		120m 又は 1 施工固所に 1 回					5		(補強土 (テール アルメ) 壁工法) (多数アンカー式 補強土工法) (ジオテキスタイ ルを用いた補強土 工法)		120m又は1施工箇所に1回 [施工後] 120m又は1施工箇所に1回	各1枚		
			6		堤防天端工	厚さ幅	〔仕上げ時〕 200mに1回〔施工後〕					6		堤防天端工	厚さ幅	〔仕上げ時〕 200mに1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚		
						· [] 世									.i.m		11 1 1 1 1 1		

							写真管理項目	摘 要	Г	П	Т	Т			1	写真管理項目		摘要	
編	章	節	条	枝釆	工種		撮影頻度[時期]		編	章	節	条根据	工種			撮影頻度[時期]	整理条件		改訂理由
				田田		撮影項目	39KAY 2XIX E- 47713					1			撮影項目	340/39 35000 [1 4794]	111. III.		
1	2	4	2		掘削工	土質等の判	地質が変わる毎に1回		1	2	4	2	掘削工			地質が変わる毎に1回	代表箇所		
共通編	2 土 工	道 路				別	〔掘削中〕		共通	工工	道 路				別	[掘削中]	各1枚		
編		土							編		土								
		上				法長					$\perp$				法長	   200m又は1施工箇所に1			
						※右のいず	回〔掘削後〕								※右のいず	回〔掘削後〕			
						れかで撮影 する。									れかで撮影 する。				
						9 <b>3</b> °	「3次元計測技術を用い た出来形管理要領	・出来映えの撮影							9 00	「TSを用いた出来形管理要領(土工編)」による場合		<ul><li>出来映えの撮影</li></ul>	3 次元計測技術 を用いた出来形
							(案)」による場合は1	・ T S 等の設置								は1工事に1回〔掘削		・ T S 等の設置	管理要領(案)
							工事に1回〔掘削後〕	状況と出来形計 測対象点上のプ								後〕		状況と出来形計 測対象点上のプ	の策定による改 定。
								リズムの設置状										リズムの設置状	Æ.
								況(プリズムが										況(プリズムが	
								必要な場合の み) がわかるよ										必要な場合の み) がわかるよ	
								うに撮影										うに撮影	
																			3次元計測技術を用いた出来形
							「3次元計測技術を用い												管理要領(案)
							た出来形管理要領(案) 多点計測技術(面管理の												の策定による改
							場合)における空中写真												定。
							測量(UAV)および地上写 真測量」に基づき写真測												
							量に用いた画像を納品す												
							る場合には、写真管理に 代えることが出来る。												
							「人からことが、国人の。												
			3		路体盛土工路床	<b>米山口                                    </b>	200mに1回〔巻出し時〕				ŀ	3	路体盛土工品	路床	米川口 同	200mに1回〔巻出し時〕	代表箇所		
			4		盛土工	巻出し厚						4	盛土工		巻出し厚		各1枚		
							「TS・GNSSを用い た盛土の締固め管理要												諸基準類の改定 に伴う修正
							領」における「締固め層												
							厚分布図」を提出する場 合は写真不要												
							百は子具小安												
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わ								締固め状況	転圧機械又は地質が変わ	1		
							る毎に1回 〔締固め									る毎に1回 〔締固め			
						法長幅	時」 200m又は1施工箇所に1								法長幅	時〕 200m又は1施工箇所に1	-		$\vdash$
						※右のいず	回〔施工後〕								※右のいず	回〔施工後〕			
						れかで撮影									れかで撮影				
						する。									する。				

				壮			写真管理項目						+±			写真管理項目			
編	章	節	条	番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要	編	章	節	条	番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	摘 要	改訂理由
1 共通編	2 土 工	4道路土工	3 4		盛土工	法長幅 ※右のいず れかで撮影 する。	た出来形管理要領 (案)」による場合は1 工事に1回〔施工後〕	出来映えの撮影 ・TS等の設置 状況を外別では、 ・TSと出来の設置 状況をは上のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ののように撮影	1 共通編	工	4道路土工	3 4		盛土工		「TSを用いた出来形管理要領(土工編)」による場合は1工事に1回〔施工後〕		出来映えの撮影 ・TS等の設置 状況と出来形計 測対象点上のプリズムの設置状 に撮影	3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 多点計測技術(面管理の 場合)における空中写真 測量(UAV)および地上写 真測量」に基づき写真測 量に用いた画像を納品す る場合には、写真管理に 代えることが出来る。												3 次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
			5			仕上げ状況 厚さ	200m又は1施工箇所に1 回 〔仕上げ時〕					5			仕上げ状況 厚さ	200m又は1施工箇所に1 回 〔仕上げ時〕	代表箇所各1枚		
	,	鉄筋工	4	1	組立て	平均間隔	コンクリート打設毎に1 回 (重要構造物かつ主鉄筋 について適用)			L.`	7 鉄筋工	4	1	組立て	平均間隔	コンクリート打設毎に1 回 (重要構造物かつ主鉄筋 について適用)	代表箇所 各 1 枚		
	鉄筋コンクリ					かぶり	コンクリート打設毎に1 回 (重要構造物かつ主鉄筋 について適用)			鉄筋コンクリ					かぶり	コンクリート打設毎に1 回 (重要構造物かつ主鉄筋 について適用)	代表箇所各1枚		
	<u> </u>				<b>※</b> 新設のコンク リート構造物の	(電磁誘導	試験毎に1回 〔試験実施中〕			  -  -				※新設のコンク リート構造物の	(電磁誘導	試験毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所 各 1 枚 [試験種 別毎]		

	- 1/114		. , _	_ • •	六.但		I 9/4	1 . 114月1十五八1	• >1	<b>3</b> O APILL	, _	_/		六. 远· 湘 】			<b>L</b> 2013	1. 十成20千171】	
編	<b>新</b>	節	条	枝番	工   種		写真管理項目	摘要	編	章	節	条	枝番	工種		写真管理項目		摘要	改訂理由
VIIII -	_		//~	畨	1	撮影項目	撮影頻度[時期]	11m ×	7PIIII		Al-	1	畨	1	撮影項	目 撮影頻度[時期]	整理条件		9人们 *土口
3 土木工事共通編	2一般施工	3 共通的工種	29	2	(場所打水路工)	厚さ幅	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕		3 土木工事共通編	2一般施工	3 共通的工種	29	2	場所打水路工	厚さ幅高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚		工種名統一
3 土木工事共通編	2一般施工	3 共通的工種	29	3	側溝工	幅深さ	120m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕		3 土木工事共通編	2一般施工	3 共通的工種	29	3	暗渠工	幅深さ	120m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	不要		工種名統一
3 土木工事共通編	2一般施工	3 共通的工種	30		集水桝工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕		3 土木工事共通編	2一般施工	3 共通的工種	30		集水桝工	厚さ幅高	1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	不要		
3 土木工事共通編	2一般施工	3 共通的工種	31		現場塗装工	材料使用量 (塗料缶) ケレン状況 (塗替) 塗装状況	全数量 〔使用前後〕 スパン毎、部材別 〔施工前後〕 各層毎1スパンに1回 〔塗装後〕		3 土木工事共通編	2一般施工	3 共通的工種	31		現場塗装工	材料使用 (塗料缶 ケレン状 (塗替) 塗装状況	<ul><li>〕 〔使用前後〕</li><li>況 スパン毎、部材別 〔施工前後〕</li><li>各層毎1スパンに1回</li></ul>	代表箇所 各 1 枚		
3 土木工事共通編	2 一般施工	4基礎工	1		一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎 工) (均しコンクリー ト)	幅厚さ	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		3 土木工事共通編	2一般施工	4基礎工	1		一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎 工) (均しコンクリー ト)	幅厚さ	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	不要		
3 土木工事共通編			3		基礎工護岸 (現場打)	幅高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕		3 土木工事共通編	2一般施工		3	1	基礎工護岸(現場打)	幅高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各 1 枚		

<i>⁄</i> ==	444	forton.	kr	枝	- 15		写真管理項目	kt æ	/ <del></del>		koko	<b>人</b> 枝		I	写真管理項目		le	lote are
編	草	帥	条	枝番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要	編	章	節	条   枝番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	摘要	摘要
3 土木工事共通編	般施工	・ブロ			コンクリートブ ロック工 (コンクリートブ ロック積) (コンクリートブ ロック張)	厚さ( <mark>胴込+</mark> 裏込)	40mに1回(40m以下の場合 は2回) 〔施工中〕	胴込コンの充填 状況確認			5 石 ・ ブロ ::	3	1 コンクリートブ ロック工 (コンクリートブ ロック積) (コンクリートブ ロック張)	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	<del>代表箇所</del> 各 1 枚		暫定的に段階確 認としていたも のを、写真確認 に変更
		ック積(張)エ				法長 厚さ (ブロック 積・張)	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕				ツク積(張)エ			法長 厚さ (ブロック 積・張)	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕			
3 土木工事共通編	般施工	Э			コンクリートブ ロック工 (連節ブロック張 り)		200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕ただし、根入部は 40mに1回		土木		5 石 ・ ブ ロ ック積(張)	3	2 コンクリートブ ロック工 (連節ブロック張 り)		200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕ただし、根入部は 40mに1回	代表箇所 各 1 枚		
3 土木工事共通編	一般施工	5 石・ブロック積(張)工		ത	コンクリートブ ロック工 (天端保護ブロッ ク)	幅	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		т.	一般施工	_	3	3 コンクリートブ ロック工 (天端保護ブロッ ク)	幅	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各 1 枚		

ź戸	苔	俖	久	枝	工種		写真管理項目	摘要	編	章	ద	∞ 杖	工種		写真管理項目		摘 要	改訂理由
形冊	早	川	禾	枝番	上	撮影項目	撮影頻度[時期]	<b>摘</b> 安	孙田	早」	節	条	生 性	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	摘 安	以訂廷田
3 土木工	2	vy				厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕		3 土木工	2	5 石・ブロッ			厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	代表箇所 各 1 枚		
事共通編	工	ク積(張)工	5		石積(張)工		200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕ただし、根入部は		事共通編		ク積(張)工	5	石積(張)工	法長厚さ(石積・	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕ただし、根入部は			
						張)	40mに1回		╙	Ш				張)	40mに1回			
		6 一 般			アスファルト舗装 工 (下層路盤工)	敷均し厚さ転 圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕				6 一 般		アスファルト舗装 工 (下層路盤工)	敷均し厚さ転 圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚		
		舗装工				整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕 各層毎200mに1回			H	舗装工			整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕 各層毎200mに1回			
3 土木工事共通編	2 一般		7	1		厚さ	「整正後」 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」により「厚さあるい は標高較差」を管理する場合 は各層毎1工事に1回 「整正後」		3 土木工事共通編	2一般施工		7	1	厚さ	〔整正後〕			3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は各層毎 1工事に1回 〔整正後〕							幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			

	10 0 1	11112			· 六远牖】		194	1) · [1/[1/ <del>-1/4</del> /]]		<b>7</b>	,	/1	大地柵】				1. 十成20年1711	
編	音	節	冬	枝番	工   種		写真管理項目	摘要	編	章	節	· 枝番	工 種		写真管理項目		摘 要	改訂理由
///III		ΣĮ,		番		撮影項目	撮影頻度[時期]	IM 文	7/2/10		NI N	番		撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	IM X	<b>女</b> 们
					アスファルト舗装		各層毎400mに1回						アスファルト舗装	敷均し厚さ転	各層毎400mに1回	代表箇所 各 1 枚		
					工 (上層路盤工)	圧状況	〔施工中〕						(上層路盤工)	圧状況	〔施工中〕	птух		
					粒度調整路盤工	*****	各層毎400mに1回						粒度調整路盤工	## J   N   N	各層毎400mに1回			
						整正状況	〔整正後〕			H				整正状況	〔整正後〕			
							各層毎200mに1回								各層毎200mに1回			
3							〔整正後〕		3	H					〔整正後〕			
土木	2	6	_			- ·	ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領		土土木	2	6			F (-				3次元計測技術
工	般	船舗	L A	7 2	2	厚さ	(案)」により「厚さあるい		Ţ	舟	般舗装一	7	2	厚さ				を用いた出来形 管理要領(案)
事共	+/-	胡果	Ē				は標高較差」を管理する場合 は各層毎1工事に1回		サ共	施	舗装							の策定による改
共通	1	装工	-				〔整正後〕		迪	╽┴╽	I							定。
編							各層毎80mに1回		編						各層毎80mに1回	1		
							〔整正後〕								[整正後]			
						幅	ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領							幅				
						тш	(案)」による場合は各層毎							тш				
							1工事に1回											
H	┢	╂	╀		アスファルト舗装		〔整正後〕		<b>I</b>	Н	-	+	アスファルト舗装			代表箇所		
					ア ベファルド 舗表 工	敷均し厚さ転	各層毎400mに1回						エ		各層毎400mに1回	各1枚		
					(上層路盤工)	圧状況	〔施工中〕						(上層路盤工)	圧状況	〔施工中〕			
					セメント(石灰) 安定処理工	整正状況	各層毎400mに1回						セメント (石灰) 安定処理工	<b>軟工作</b> 加	各層毎400mに1回			
					女足处连工	<b>登上</b> 认优	〔整正後〕						女足是生工	整正状況	〔整正後〕			
							1,000㎡に1回								1,000㎡に1回			
							〔整正後〕								[整正後]			
3 土		6					※コアを採取した場合は写真不要		3 土		6				※コアを採取した場合は写真 不要			3次元計測技術
木	Z	— бл	- L			厚さ	ただし、「3次元計測技術を		木工	2	—- வ்ரு			厚さ				を用いた出来形
事	般施	. 制	Ì	7	3	子で	用いた出来形管理要領		事	般	般舗装工	7	3	子で				管理要領(案)
共	旭工	装工	Ê				(案)」により「厚さあるい は標高較差」を管理する場合		共	旭工	装工							の策定による改 定。
共通編			_				は各層毎1工事に1回		編									) <del>_</del> 0
							〔整正後〕											
							各層毎80mに1回 「敷工祭」								各層毎80mに1回			
							〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を								〔整正後〕			
						幅	用いた出来形管理要領							幅				
							(案)」による場合は											
							各層毎1工事に1回 〔整正後〕											
							〔歪ഥ妆〕		<b>」</b>									

<b>%</b> □	幸	節条	村番	工工種		写真管理項目	摘要	編	章	節	ᇫ 枝	工種		写真管理項目		摘要	改訂理由
形冊	早	即	番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	<b>摘</b> 安	形冊	早	니J	条	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	<b>摘</b> 安	以訂垤田
				<u>_</u>	敷均し厚さ	各層毎400mに1回						アスファルト舗装 工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回	代表箇所 各1枚		
3				(加熱アスファル ト安定処理工)	転圧状況	[施工中]		3				(加熱アスファル ト安定処理工)	転圧状況	[施工中]			
土木工	2 —	6 一 般	7	4	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		土木工	2 一		7		整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	]		3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案)
工事共通編	<sup>放施</sup> 工	般舗装工	1	4	幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		事共通編	一般施工	舗装工	1	ŧ	幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			官理妄順(条)の策定による改定。
				アスファルト舗装 工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕						アスファルト舗装 エ (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚		
3 土木	2 —	6 —		(坐眉上)	タックコー ト、 プライムコー	各層毎に1回 〔散布時〕		3 土 木	2	6 —		(金)百上)	タックコー ト、 プライムコー ト	各層毎に1回 〔散布時〕			3次元計測技術 を用いた出来形
工事共通編	般施工	般舗装工	7	5	幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は各層毎 1工事に1回 〔整正後〕		上事共通編		般舗装工	7	5	幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			管理要領(案)の策定による改定。
3 土 木	2	6		アスファルト舗装 工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕		3 土 木	2	6		アスファルト舗装 エ (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚		
工事	一般施二	般舗装	7	(32/百上)	ダックコー ト、プライム コート	を雇用に1回 (散布時)		八工事共	一般施工	般舗装	7	(以恒上)	タックコー ト、プライム コート	各層毎に1回 〔散布時〕	]		
共通編	工	工			平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		通編	工	Ĭ			平坦性	1工事に1回 〔実施中〕	]		

<i>/</i>	جاجه	£a£-			枝		Ī	写真管理項目	l÷	<i>z</i> —	-t-	into	, k	技			写真管理項目	Ī	lete	7/ 3-4-77 1
編	草	節	5 3	Ř.	枝番	工   種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要	編	章	節	条置	技 番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	摘要	改訂理由
						半たわみ性舗装工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回						#	半たわみ性舗装工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回	代表箇所 各1枚		
						(下層路盤工)	転圧状況	〔施工中〕		Ш					(下層路盤工)	転圧状況	〔施工中〕			
							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		Ш	Ш			ı		整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
3								各層毎200mに1回 〔整正後〕		3							各層毎200mに1回 〔整正後〕			
土木工事共通編	2一般施工	前	_	8	1		厚さ	ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」により「厚さあるい は標高較差」を管理する場合 は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		土木工事共通	2一般施工	6一般舗装工	8	1		厚さ				3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
編								各層毎80mに1回 〔整正後〕		編							各層毎80mに1回 〔整正後〕			
							幅	ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は各層毎 1工事に1回								幅				
		t	t			半たわみ性舗装工	敷均し厚さ	「整正後」 各層毎400mに1回		╟	Н	7	$\top$	4	半たわみ性舗装工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回	代表箇所 各1枚		
						(上層路盤工)	転圧状況	〔施工中〕		Ш					(上層路盤工)	転圧状況	〔施工中〕	1111		
						粒度調整路盤工	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕							立度調整路盤工	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
								各層毎200mに1回 〔整正後〕						ı			各層毎200mに1回 〔整正後〕	1		
3 土木 工事共足	2一般施工	船	6一 受補表口	8	2		厚さ	ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」により「厚さあるい は標高較差」を管理する場合 は各層毎1工事に1回		3 土木 工事共通	2一般施工	6一般舗装工	8	2		厚さ	(ELK)			3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定
編			L					〔整正後〕 各層毎80mに1回		編	Ш	_		ı			各層毎80mに1回	-		<b>∠</b> 0
							幅	「整正後」 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領			$ \  $					幅	〔整正後〕			
								(案)」による場合は各層毎 1工事に1回 〔整正後〕												

1			_							_			./·	1	1				
PC かの作詞をは、	編	章	節	条	枝	工種		写真管理項目	摘要	編	章	節	条 ┃枝	工種		写真管理項目		摘要	改訂理由
1		Ĺ	~ I'		畨	_	撮影項目	撮影頻度[時期]	454 🔷	·Pilid	Ĺ		**   番		撮影項目	撮影頻度[時期]		117 ^	7564:44
1								各層毎400mに1回						半たわみ性舗装工		各層毎400mに1回	代表箇所 各 1 枚		
1						(上層路盤工)	圧状況	〔施工中〕						(上層路盤工)	圧状況	〔施工中〕			
本						セメント (石灰)								セメント (石灰)			1 1		
10   10   10   10   10   10   10   10						安定処埋丄	整正状況							安定処埋上	整正状況				
1																	i I		
上 2   2   2   2   2   2   2   2   2																			
本 三 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	3 土	0	6							3 土	0	6				※コアを採取した場合は写真 不要			
東京   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東京	木		<u> </u>				亘と			木工		_			回 と	(1)安			
A	事	般施	舗	8	3		/ <del>-</del> C	用いた出来形管理要領		事	般施	舗	8	3	J-C				
整正検	共通	工	装工					は標高較差」を管理する場合		共通	_	装工							
	編									編									
(整正後)   (整正後)   (整正後)   (整正後)   (整正後)   (整正後)   (整正後)   (表表倫)   (整正後)   (整正後)   (上下に 1回 (整正状元 1回 (整正张元 1回 (整正张元 1回 (整正张元 1回 (整正张元 1回 (整正张元 1回 (整正张元 1回 1回 (整正张元 1回 1回 (整正张元 1回 1回 (整正张元 1回 1回 (整正张元 1回 (整正张元 1回 1回 1回 1回 (整正张元 1回 1回 1回 1回 1回 1回 (整正张元 1回																各届毎80mに1回	l I		
報																			
(余) 」による場合は各層毎   T本に1回   (松工後)   (水工後)   (水工を)   (							<del>111</del>								<del>11.11</del>				
T.野に1回   (整正後)   であったというでは   であった   であった							lite								<b>州</b> 苗				管理要領 (案)
3								1工事に1回											の策定による改
本元   1						-				╟	Н	H	+				代表笛所		<b>た</b> 。
3 土 木 一 般 編 共通 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 工 上 板 編 表 工 工 工 上 板 編 表 五 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人						半たわみ性舗装工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回						半たわみ性舗装工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回			
3 土 木 一 般 編 共通 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 工 上 板 編 表 工 工 上 板 編 表 工 工 工 上 板 編 表 工 工 工 上 板 編 表 五 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人						(加熱アスファル	<b>非</b> 工化知	(歩工山)						(加熱アスファル	<b>                                      </b>	(松工由)			
本工 日 投 施 接	3					卜安定処理工)	料水水	(地工中)		3				卜安定処理工)	料外代	(旭二中)			
Tan	土木	2	_				整正状況			土木	2				整正状況				
幅	工車	般	般鈾	8	4		H. 111 / ( ) 1			工事	般	般鈾	8	4			l I		
幅	共	施工	装							共		衣							
Tan   Ta	通編		工					ただし、「3次元計測技術を		/ <del></del>		エ							3次元計測技術
3							幅	用いた出来形管理要領							幅				を用いた出来形 管理要領 (案)
3 上 2																			の策定による改
立 大 2								〔整正後〕		┡	Ш	Щ	_						定。
土 2 0			6			半たわみ性舗装工		400mに1回				6		半たわみ性舗装工		400mに1回	代表箇所 各 1 枚		
工事 般 編 表 5 (基層工)     「整正後」       タックコー ト、プライム     各層毎に1回       大 プライム     上 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工	木					「たい」。「江山山東工	整正状況	Toom(CI)			2	<u> </u>		「「「「「」」「「上山山太上」	整正状況	Tovin(e I 🖂			
共   Mal   William	工事	般	般舗	8	5	(基層工)		〔整正後〕		工事	般	般舗	8	5 (基層工)		〔整正後〕			
週     上	共	施工	装工					各層毎に1回			施工	装工							
	通 編						コート	〔散布時〕		組編		上			コート	〔散布時〕			

⁄后	杢	tetes /	ار الم	支	工種		写真管理項目	摘要	編	章	節	条	I.	種		写真管理項目		摘要	改訂理由
形冊	早	月] 5	\hat{k}	番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘 安	孙田	早	川	条		俚	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	個 安	以訂连田
3 土木工事共通編	加又	6一般舗装工	8		(表層工)	整止状況 タックコー ト、プライム コート	400mに1回 〔整正後〕 各層毎に1回 〔散布時〕 400mに1回 〔注入時〕 1工事に1回 〔実施中〕		3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	8	半たわみ (表層I	性舗装工)	整正状況 タックコート、プライム コート 浸透性ミルク 注入状況 平坦性	400mに1回 〔整正後〕 各層毎に1回 〔散布時〕 400mに1回 〔注入時〕 1工事に1回 〔実施中〕	代表箇所 各 1 枚 -		
						敷均し厚さ転	各層毎400mに1回									各層毎400mに1回	代表箇所 各1枚		
						圧状況	〔施工中〕 各層毎400mに1回								圧状況	〔施工中〕 各層毎400mに1回	台1枚		
						整正状況	台層毎400mに1回 〔整正後〕								整正状況	ででは、「整正後」			
3 土木工事共通短	2一般施工	6一般舗装工	9		F水性舗装工(下 骨路盤工)	厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」により「厚さあるい は標高較差」を管理する場合 は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		3 土木工事共通短	2一般施工	ńл	9	1 排水性舗 層路盤エ	装工(下 )	厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕			3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
編						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		編						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			

技 番 工 種 排水性舗装工(上	撮影項目	写真管理項目 撮影頻度[時期]	摘要	編	章	i-h- /5	. 枝			写真管理項目			
排水性舗装工(上	撮影項目	撮影頻度「時期〕	1161			前 【红	1人 平	工種		, . —		摘要	改訂理由
		#PNAY 2/10~ E 4/743		77113	<del>-1-</del> )	ylı N	校 番	工	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	1回 女	<b>以</b> 的经用
層路盤工)	た 敷均し厚さ転 圧状況	各層毎400mに1回						排水性舗装工(上層路盤工)	敷均し厚さ転 圧状況	各層毎400mに1回	代表箇所 各1枚		
粒度調整路盤工	整正状況	〔施工中〕 各層毎400mに1回 〔整正後〕						粒度調整路盤工	整正状況	〔施工中〕 各層毎400mに1回 〔整正後〕	1		
		全型では 各層毎200mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を		3						各層毎200mに1回 〔整正後〕			
<del>)</del> 2	厚さ	用いた出来形管理要領 (案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合		土木工東	2 一般	6 一般 舗	9 2		厚さ				3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案)
		各層毎1工事に1回 〔整正後〕		共通編	施工	装工							の策定による改 定。
	幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕							幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			
	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕		П					敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚		
	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	]		
		各層毎200mに 1 回 〔整正後〕		3						各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要			
、 『層路盤工)セメン	/	ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」により「厚さあるい は標高較差」を管理する場合 は		未	2	<b>—</b> I	9 3	層路盤工)セメン ト(石灰)安定処	厚さ				3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
		〔 <mark>整正後〕</mark> 各層毎80mに1回		лупи						各層毎80mに1回 「敷正終〕	$\{  \mid$		
	幅	ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領							幅	(正止夜)			
3	層路盤工)セメン ト(石灰)安定処	転圧状況 整正状況 排水性舗装工(上 層路盤工)セメン ト(石灰)安定処	幅 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 [整正後]	幅 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 [整正後]  敷均し厚さ 各層毎400mに1回 [施工中] 整正状況 「施工中] 整正状況 「整正後]  各層毎200mに1回 [整正後]  各層毎200mに1回 「整正後]  を層毎200mに1回 「整正後]  本だし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 「整正後」 各層毎80mに1回 「整正後」 ただし、「3次元計測技術を相いた出来形管理要領	幅 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 (整正後)  敷均し厚さ 各層毎400mに1回 (施工中) 整正状況 各層毎400mに1回 (整正後) 各層毎200mに1回 (整正後)  本だし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 (整正後) 各層毎80mに1回 「整正後] 各層毎80mに1回 「整正後] を層毎80mに1回 「整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領	幅 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 (整正後)  敷均し厚さ 各層毎400mに1回 (施工中) 整正状況 「6層毎400mに1回 (整正後) 各層毎200mに1回 (整正後) 各層毎200mに1回 (整正後) を層毎200mに1回 (整正後) を層毎200mに1回 (整正後) を層毎200mに1回 (整正後) を層毎80mに1回 (整正後) 各層毎1工事に1回 (整正後) 各層毎80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 を層毎80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領	幅 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1 工事に1回 (整正後)  敷均し厚さ 各層毎400mに1回 (施工中) 整正状況 (施工中) 整正状況 各層毎400mに1回 (整正後) を層毎200mに1回 (整正後) を層毎200mに1回 (整正後) を層毎200mに1回 (整正後) を層毎200mに1回 (整正後) を層毎200mに1回 (整正後) を層毎80mに1回 (整正後) を層毎80mに1回 (整正後) を層層80mに1回 (整正後) を層層80mに1回 (整正後) を層層80mに1回 (整正後) を層層80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を 相いた出来形管理要領	幅 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 [整正後]  敷均し厚さ 各層毎400mに1回 [施工中] 整正状況 各層毎400mに1回 [整正後]  を層毎200mに1回 [整正後]  を層毎200mに1回 [整正後]  を層毎200mに1回 [整正後]  を層毎200mに1回 [整正後]  を層毎200mに1回 [整正後]  を層毎200mに1回 [整正後]  を層毎80mに1回 [整正後]	幅 用いた出来形管理要領 (余) 」による場合は 各層毎1工事に1回 [整正後] 数均し厚さ 各層毎400mに1回 [整正状況 [施工中] 整正状況 各層毎400mに1回 [整正後] 各層毎200mに1回 [整正後] 名層毎200mに1回 [整正後] 名層毎200mに1回 [整正後] 名層毎200mに1回 [整正後] 名層毎200mに1回 [整正後] 名層毎200mに1回 [整正後] 名層毎200mに1回 [整正後] 本だし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (索)」により「厚さあるいは解高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 [整正後] 各層毎80mに1回 [整正後] 各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領	福	編	幅	編

				1		reads ble arract to			_		-							
編	章	節	、┃梲	工種		写真管理項目	摘要	編	章	節	条┃ホ	支番	工種		写真管理項目	<b>並在7日 夕 /山</b>	摘要	改訂理由
			雀		撮影項目	撮影頻度[時期]		Щ			1	_		撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件		
				排水性舗装工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回							排水性舗装工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回	代表箇所 各 1 枚		
3				(加熱アスファル ト安定処理工)	転圧状況	〔施工中〕		3					(加熱アスファル ト安定処理工)	転圧状況	〔施工中〕	日1次		
土		6			det. — tr. S-			土	2	6 —		ı		del. — a 11. No	各層毎400mに1回	<b>-</b>		3次元計測技術
工工	一般		9	4	整正状況	[整正後]		工工	一般	ÁΠ.	9	4		整正状況	〔整正後〕			を用いた出来形管理要領(案)
工事共通	施工	般舗装工				各層毎80mに1回		ササ	般施工	舗装		ı			各層毎80mに1回 「敷工器)			の策定による改
通編	_	工			幅	「整正後」ただし、「3次元 計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」による場合は各 層毎1工事に1回 〔整正後〕		通編	上	工				幅	〔整正後〕			定。
5	- 1	-	+			(正正仪)		5			$\dashv$	+				代表箇所		
土木工	2	6 一 <sup>飲几</sup>		排水性舗装工	整正状況	400mに1回		土木	2 —	6 一 <sup></sup>			排水性舗装工	整正状況	400mに1回	TVXE///		
事共	般梅	般 舗	9	5 (基層工)		〔整正後〕		事	般施	般舗	9	5	(基層工)		〔整正後〕	各1枚		
共通	工	装工			タックコー ト、プライム	各層毎に1回		共通	工	装工		ı		タックコー ト、プライム	各層毎に1回			
通編					コート	〔散布時〕		通編						コート	〔散布時〕	the temperature		
3 土	9	6		排水性舗装工	整正状況	400mに1回		3 土	9	6			排水性舗装工	整正状況	400mに1回	代表箇所 各1枚		
木		—— 前几		(表層工)	ダックコー	〔整正後〕 各層毎に1回		木	2	— <sub>前几</sub>		ı	(表層工)	ダックコー	〔整正後〕 各層毎に1回	1111		
事共	般恢	般舗装	9	6	ト、プライム コート	行信母に1回 〔散布時〕		事	般施	組織	9	6		ト、プライム コート	(散布時)			
共通	工 工	装工			平坦性	1工事に1回		共通	工.	装工		ı		平坦性	1工事に1回	<b>-</b>		
編					平坦性	〔実施中〕		通編		上					〔実施中〕			
					敷均し厚さ転	各層毎400mに1回						ı			各層毎400mに1回	代表箇所		
					圧状況	〔施工中〕						ı		圧状況	〔施工中〕	各1枚		
					整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕						ı		整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						各層毎200mに1回						ı			各層毎200mに1回	<b>-</b>		
						〔整正後〕ただし、「3次元						ı			〔整正後〕			
3 +		6				計測技術を用いた出来形管理		3 十		6		ı						9 发示卦测量线
土木工事共通編	2 —	<u>—</u>		エ し い かり ナ ア ロカ 何 D.	厚さ	要領(案)」により「厚さあ るいは標高較差」を管理する		木	2	_		ı	エ ししんかナーフロケ 向几	厚さ				3次元計測技術を用いた出来形
事	般	組舗	10	1 透水性舗装工路盤 工		場合は		上事	一般施工	般 舗	10	1	透水性舗装工路盤工.					管理要領 (案)
共	施工	装				各層毎1工事に1回			施工	装		ı						の策定による改 定。
通編		エ				〔整正後〕 久屋左00 と1 日		共通編		工		ı			久尼与00 ≥ 1 □	-		<b>た</b> 。
77114						各層毎80mに1回		/PIII				ı			各層毎80mに1回 〔整正後〕			
						〔整正後〕ただし、「3次元 計測技術を用いた出来形管理						ı						
					幅	要領(案)」による場合は								幅				
						各層毎1工事に1回												
			1			〔整正後〕						1						

<b>√</b> □	生 怂	: 久	枝	工種		写真管理項目	摘要	編	章	tete:	々	枝	工種		写真管理項目		按 再	改訂理由
形曲 -	早 月	i 条	枝番	工   種	撮影項目	撮影頻度[時期]	加 安	が抽	早	節	条	枝番	工   種	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	摘要	以訂理田
5 土木 工事 共通 絙		# .	10 2	透水性舗装工表層工	整正状況 タックコー ト、プライム フート	400mに1回 〔整正後〕 各層毎に1回 〔散布時〕		5 土木 工事 共通編	2一般施工	6一般舗装工	10	2	透水性舗装工表層工	整正状況 <del>タックコー</del> ト、プライム フート	400mに1回 〔整正後〕 各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚		
3 土木工	2一般	6 一 殳 甫 麦 匚	.1 1	(加熱アスファル ト安定処理工)	敷均し厚さ転	各層毎400mに1回		3 土木二	2一般施工	6一般舗装工	11	1	グースアスファル ト舗装工 (加熱アスファル ト安定処理工)	敷均し厚さ転	各層毎400mに1回 〔施工中〕 各層毎400mに1回 〔整正後〕 各層毎80mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚		3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
3 土木工事共通編 3	2一般施工	6 一 安甫 1	1 2	(基層工) グースアスファル	整正状況 タックコー ト、プライム コート	400mに1回 〔整正後〕 各層毎に1回 〔散布時〕 400mに1回		5 土木工事共通編 3	2一般施工	6一般舗装工	11	2	グースアスファル ト舗装工 (基層工)	整正状況 タックコー ト、プライム コート	400mに1回 〔整正後〕 各層毎に1回 〔散布時〕 400mに1回	代表箇所 各1枚 代表箇所		
土木工	2一般	6 一 安 甫 麦 匚	1 3	ト舗装工 (表層工)	整正状況 タックコー ト、プライム ユート  平坦性	(整正後) 各層毎に1回 (散布時) 1工事に1回 (実施中)		土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	11	3	ト舗装工 (表層工)	整正状況 タックコー ト、プライム コート  平坦性	(整正後) 各層毎に1回 (散布時) 1工事に1回 (実施中)	各1枚		

• /	1 <b>3</b> O ////	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			六坦柵】		T SX II.	]:'节和7年4月】	12	13 O /VIII	u _L	_/ \	+ 共 理 柵 】			1001	」:平成28年7月】	
经过	卋	俖	条	枝番	工 種		写真管理項目	摘要	編	苔	節	条	工種		写真管理項目		摘 要	改訂理由
州田	早	節	未	番	上	撮影項目	撮影頻度[時期]	1向 安	孙田	早		条	<b>益</b> 工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	1 一安	以訂理田
					コンクリート舗装 工 (下層路盤工)	敷均し厚さ転 圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕						コンクリート舗装 工 (下層路盤工)	敷均し厚さ転 圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚		
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕 各層毎200mに1回							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕 各層毎200mに1回			
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	12	2 1		厚さ	「整正後」 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 「整正後」		3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	12	1	厚さ	[整正後]			3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
79112						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		Pila					幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			
					コンクリート舗装 工 (粒度調整路盤 工)	敷均し厚さ転 圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕						コンクリート舗装 工 (粒度調整路盤 工)	敷均し厚さ転 圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚		
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
3 土木工事共通編	版	6一般舗装工		2 2		厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」により「厚さあるい は標高較差」を管理する場合 は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		3 土木工事共通編	2	6一般舗装工	12	2	厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕			3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕							幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			

妇	辛 /	な タ	表   木	支 工 種		写真管理項目	摘要	編	章	節	条	枝番	工 種		写真管理項目		摘要	改訂理由
ηλΗΗ	平 .	節	1	上生	撮影項目	撮影頻度[時期]	1 多	ЛУHHI	早		木	番	工. 俚	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	1	以前建田
				コンクリート舗装 工 (セメント(石 灰・瀝青)安定処 理工)	敷均し厚さ転 圧状況	〔施工中〕							コンクリート舗装 エ (セメント(石 灰・瀝青)安定処 理工)	敷均し厚さ転 圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚		
					整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
3 土木工事共通編	_	6一般舗装工	12	3	厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」により「厚さあるい は標高較差」を管理する場合 は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	12	3		厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要			3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
					幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			
				コンクリート舗装工	整正状況	400mに1回							コンクリート舗装工	整正状況	400mに1回	代表箇所		
3 土木工事共 通編	2	6一般舗装工	12	(アスファルト中 間層) 4	タックコー ト、プライム コート	<ul> <li>(整正後)</li> <li>各層毎に1回</li> <li>(散布時)</li> <li>各層毎80mに1回</li> <li>(整正後)</li> <li>ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は</li> </ul>		3 土木工事共 通編	2一般施工	6 一般舗装工	12	4	(アスファルト中間層)	タックコー ト、プライム コート	〔整正後〕 各層毎に1回 〔散布時〕 各層毎80mに1回 〔整正後〕	各1枚		3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
						各層毎1工事に1回 〔整正後〕												

	17 O //	1111	L/ ·-	,	<del>八</del>		190	门:节机7年4月】		<b>7</b>	111	-/ -	ユザフ	共理編】			1961	]: 平成28年7月】	
ź戸	章	節	条	枝	工種		写真管理項目	摘要	絙	章	쑙	条	枝	工   種		写真管理項目		摘 要	改訂理由
ηγπ	阜	即	未	枝番	上	撮影項目	撮影頻度[時期]	1 多	孙田	平	[]	木	枝番	上	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	1 一安	以訂座田
					コンクリート舗装 工 (コンクリート舗 装版工)	石粉、プライ ムコート	各層毎に1回 〔散布時〕							コンクリート舗装 工 (コンクリート舗 装版工)	石粉、プライ ムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚		
						スリップ バー、 タイバー寸 法、	80mに1回 〔据付後〕								スリップ バー、 タイバー寸 法、	80mに1回 〔据付後〕			
3 土木工事	2一般施	般舗	12	2 5		位置 鉄網寸法 位置 平坦性	80mに1回 〔据付後〕 1工事に1回		3 土木工事	2一般恢	6一般舗装工	12	5		位置 鉄網寸法 位置 平坦性	80mに1回 〔据付後〕 1工事に1回			3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案)
共通編	儿	装工				厚さ	[実施中] 各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		共通編		装工				厚さ	〔実施中〕 各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕			の策定による改 定。
						目地段差	1工事に1回								目地段差	1工事に1回	1		
					コンクリート舗装 工 (転圧コンクリー ト版工)	敷均し厚さ転 圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕							コンクリート舗装 工 (転圧コンクリー ト版工)	敷均し厚さ転 圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚		
					下層路盤工	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕 各層毎200mに1回							下層路盤工	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕 各層毎200mに1回			
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工		2 6		厚さ	「型枠据付後」 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」により「厚さあるい は標高較差」を管理する場合 は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工		6		厚さ	〔型枠据付後〕			3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			

			_				res to late and are to		. —	_		-			_	treated to the same actions			
編	章	節	条	枝番	工   種		写真管理項目	摘要	編	章	節	条	枝番	工種		写真管理項目	±4.≠m ∕z /ı .	摘要	改訂理由
				畓		撮影項目	撮影頻度[時期]		I L			Ļ	金		撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件		
					コンクリート舗装 工 (転圧コンクリー ト版工) 粒度調整 路盤工	敷均し厚さ転 圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕							コンクリート舗装 エ (転圧コンクリー ト版工) 粒度調整 路盤工	敷均し厚さ転 圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚		
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	12	2 7		厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」により「厚さあるい は標高較差」を管理する場合 は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	1:	2 7		厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕			3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			
					コンクリート舗装 工 (転圧コンクリー ト版工)	敷均し厚さ転 圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕								敷均し厚さ転 圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚		
					セメント(石灰・ 瀝青)安定処理工	整正状況	各層毎400mに1回							セメント (石灰・ 瀝青) 安定処理工	整正状況	各層毎400mに1回			
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	12	2 8		厚さ	「整正後」 1,000㎡に1回 「整正後」 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 「整正後〕		3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	1:	2 8		厚さ	〔整正後〕 1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要			3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			

<b>%</b> 戸	本	筋	久	枝	工 種		写真管理項目	摘要	編	章	節	久	枝	工 種		写真管理項目		摘要	改訂理由
孙田	早	티크	禾	枝番	上	撮影項目	撮影頻度[時期]	頒 安	孙田	早.	即	条	枝番	上	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	摘 安	以訂垤田
					コンクリート舗装 工		400mに1回							コンクリート舗装 工		400mに1回	代表箇所		
3					(転圧コンクリー ト版工)アスファ ルト中間層	整正状況	〔整正後〕		3					(転圧コンクリー ト版工)アスファ ルト中間層	整正状況	〔整正後〕	各1枚		
土木	2	6				タックコー ト、	各層毎に1回		土木	2 —	6				タックコー ト、	各層毎に1回	1		3次元計測技術 を用いた出来形
事	般施	般舗装工		12 9		プライムコー ト	〔散布時〕		工事共	般施工	般舗	12	9		プライムコー ト	〔散布時〕			管理要領(案) の策定による改
共通編	工	工					各層毎80mに1回 〔整正後〕		通編	工	工					各層毎80mに1回 〔整正後〕			定。
						幅	ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		7						幅				
					コンクリート舗装工	敷均し厚さ転 圧状況	400mに1回							コンクリート舗装工	敷均し厚さ転 圧状況	400mに1回	代表箇所 各1枚		
					(転圧コンクリー ト版工)	<u> </u>	〔施工中〕							(転圧コンクリー ト版工)	<b>工</b> 扒机	〔施工中〕	谷1枚		
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工		12 10		厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」により「厚さあるい は標高較差」を管理する場合 は		3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	12	10		厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕			3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
						平坦性	<ul><li>「整正後」</li><li>1 工事に 1 回</li><li>〔実施中〕</li></ul>								平坦性	1 工事に 1 回 〔実施中〕	1		

•	/ IV - /	.,,,,,,			<del>八</del>		<b>L</b> 9(F	11 · [1/11/1-47/1]	<b>■</b> 21.	y O APILL	,	.,	八心师』			<b>L</b> 201	1 .   1,00,00,00,00,00	
絙	章	節	条	枝	工 種		写真管理項目	摘要	編	章	節	条	工   種		写真管理項目		摘要	改訂理由
ЛЯНІ	中	니지	未	枝番	上	撮影項目	撮影頻度[時期]	1向 安	州田	早」	티	条   枝番	上	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	1 一安	以訂理田
Ī					コンクリート舗装 工 (連続鉄筋コンク リート舗装工)	石粉、プライ ムコート	各層毎に1回 (散布時)											
3 土木工事共通編	2一般施工		12	2 11		鉄 (横ダ寸縦目 り 部法 下 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	〔据付後〕  1 工事に1回 〔実施中〕 各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の場合は打設前後〕ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		3 土木工事 共通編	一般	6一般舗装工	12						新工種追加
	2一般施工	6一般舗装工		1	(下層路盤工)	圧状況  整正状況	1 工事に 1 回 各層毎400mに 1 回 〔施工中〕 各層毎400mに 1 回 〔整正後〕 各層毎200mに 1 回 〔整正後〕 各層毎80mに 1 回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1 工事に 1 回 〔整正後〕			2一般施工		13	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	正状況 整正状況	各層毎400mに1回 [施工中] 各層毎400mに1回 [整正後] 各層毎200mに1回 [整正後] 各層毎80mに1回 [整正後]	各1枚		3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。

編	章	節	条	工  種		写真管理項目	摘要	編	章	節 身	木	枝番	工 種		写真管理項目	## TIL 27 1/1	摘要	改訂理由
, ,			1 1		撮影項目	撮影頻度[時期]		,,,,,	,		1	畓		撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	,,,	, <u></u>
				薄層カラー舗装工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回						薄	<b>層カラー舗装工</b>	敷均し厚さ	各層毎400mに1回	代表箇所		
				(上層路盤工)	転圧状況	〔施工中〕						(	(上層路盤工)	転圧状況	〔施工中〕	各1枚		
3				粒度調整路盤工	整正状況	各層毎400mに1回		2				粒	位度調整路盤工	整正状況	各層毎400mに1回			
3 土	2	6			E.II. (171)	〔整正後〕		3 土	2	6					〔整正後〕			3次元計測技術
木	<del></del>	一般			厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		木	_	一				厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕			を用いた出来形
工事	般施	舗	13	2		を発送している。 各層毎80mに1回		事	一般施丁	舗	13	2			各層毎80mに1回	1 1		管理要領(案) の策定による改
共通編	工	装工				〔整正後〕		共通	工	装工					〔整正後〕			定。
編					ా	ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領		編						恒				
					"H	(案)」による場合は								17田				
						各層毎1工事に1回												
			+			〔整正後〕		Н	-	+	+	+				代表箇所		
				薄層カラー舗装工	敷均し厚さ転 圧状況	各層毎400mに1回						薄		敷均し厚さ転 圧状況	各層毎400mに1回	1(32回)/1		
				(上層路盤工)	<b>二</b> 人优	〔施工中〕							(上層路盤工)	<b>工</b> 扒	〔施工中〕	各1枚		
				セメント (石灰) 安定処理工	整正状況	各層毎400mに1回							アメント(石灰) R定処理工	整正状況	各層毎400mに1回			
3				<i>x</i> , <i>c</i>	<u>т</u> . π. η\ () L	〔整正後〕		3						TETT-WVD	〔整正後〕			
土	2	6				1,000㎡に1回		土	2	6					1,000㎡に1回			3次元計測技術
工	一般	般舗	13	3	厚さ	〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真		工	般施	般	13	3		厚さ	〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真			を用いた出来形 管理要領(案)
事	施	舗装	10			ペコノを休取した場合は予具 不要		事共	施	舗装	10				スコノを休取した場合は与具 不要			の策定による改
共通編	工	装工				各層毎80mに1回		通	工	装工					各層毎80mに1回	1		定。
編						〔整正後〕		編							〔整正後〕			
					幅	ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領								幅				
						(案)」による場合は各層毎 1工事に1回												
						[整正後]												
				薄層カラー舗装工		各層毎400mに1回			T	T	╅	油	<b>挿</b> 層カラー舗装工		各層毎400mに1回	代表箇所		
					敷均し厚さ転									敷均し厚さ転	行信再400III(C I 凹	各1枚		
				(加熱アスファル	圧状況	〔施工中〕						(	(加熱アスファル	圧状況	〔施工中〕	谷 1 仪		
3		6		卜安定処理工)				3 +		6		1	、安定処理工)					
土木工事共通編	2	_			整正状況	各層毎400mに1回		木	2	_				整正状況	各層毎400mに1回			3次元計測技術 を用いた出来形
工事	般施	般舗装工	13	4		〔整正後〕 各層毎80mに1回		工事	一般施工	般舗	13	4			〔整正後〕 各層毎80mに1回	l 1		管理要領 (案)
共	施工	装工				〔整正後〕		共	施工	装工					〔整正後〕			の策定による改 定。
理 編		上			1=	ただし、「3次元計測技術を		共通編		上				1=				<b>∕</b> ∟∘
					幅	用いた出来形管理要領 (案)」による場合は各層毎								ll 				
						1工事に1回												
						〔整正後〕			l		I							1

何	杢	左	欠	枝	工. 種		写真管理項目	摘要	編	章	tete:	々	枝	工種		写真管理項目		摘要	改訂理由
孙田	章	即 :	条	枝番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	<b>摘</b> 安	形冊	早	即	条	枝番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	加 安	以訂垤田
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	13	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	整正状況 タックコーイム コーイム コー 厚さ 幅	400mに1回 「整正後〕 各層毎に1回 (散布時〕 1,000㎡に1回 (整正後〕 各層毎80mに1回 (整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は各層毎 1工事に1回 〔整正後〕		3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	13	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	整止状況 ダックコー ト、プライム コート 厚さ	400mに1回 〔整正後〕 各層毎に1回 〔散布時〕 1,000㎡に1回 〔整正後〕 各層毎80mに1回 〔整正後〕	各1枚		3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	14	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	正状況 整正状況 厚さ 幅	各層毎400mに1回 〔施工中〕 各層毎400mに1回 〔整正後〕 各層毎200mに1回 〔整正後〕 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	14	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	E 状況 整正状況 厚さ 幅	各層毎400mに1回 [施工中] 各層毎400mに1回 [整正後] 各層毎200mに1回 [整正後] 各層毎80mに1回 〔整正後]	代表箇所 各 1 枚		3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。
3 土木工事共通編	2一般施工	6 一般舗装工	14	2	ブロック舗装工 (上層路盤工)粒 度調整路盤工	敷均し厚さ転 圧状況 整正状況 厚さ 幅	各層毎400mに1回 〔施工中〕 各層毎400mに1回 〔整正後〕 各層毎200mに1回 〔整正後〕 各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		3 土木工事共通編	2一般施工	6 一般舗装工	14	2	ブロック舗装工 (上層路盤工)粒 度調整路盤工	圧状況 整正状況 厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕 各層毎400mに1回 〔整正後〕 各層毎200mに1回 〔整正後〕 各層毎80mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各 1 枚		3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。

編	章	節	枝番	工   種		写真管理項目	摘要	編	章	節 身	枝番	工工種		写真管理項目		摘要	改訂理由
/ / / III	_	A)• 21	* 番		撮影項目	撮影頻度[時期]	2164 🗸	, pilo	' '	41.	*   番		撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	1144 🗸	<b>分似,</b> 五口
				ブロック舗装工 (上層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回						ブロック舗装工 (上層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回	代表箇所		
				セメント(石灰) 安定処理工	転圧状況	〔施工中〕						セメント (石灰) 安定処理工	転圧状況	〔施工中〕	各1枚		
3					整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		3					整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
土木工事	川 <b>火</b> + <del>/-</del>	舗	14	3	厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真		土木	2一般施丁	6 一 般舗	14	3	厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要			3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改
共通編	工	装工				不要 各層毎80mに1回		共通編	工	装工				各層毎80mに1回			定。
лин					幅	〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		נווינית					幅	〔整正後〕			
	-	-	-	ブロック舗装工		を屋毎400mに1回		$\vdash$	+	+	+	ブロック舗装工		各層毎400mに1回	代表箇所		
					敷均し厚さ転 圧状況	〔施工中〕						(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ転 圧状況		各1枚		
3 土 木	2	6		, 50,2,2,3,,	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		3 土 木	2	6		, 50,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			3次元計測技術を用いた出来形
工事共通編	施工	般舗装工	14	4	幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕		工事共通編	一般施工	般舗装工	14	4	幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			管理要領(案)の策定による改定。
3 +		6		ブロック舗装工	整正状況	400mに1回		3 +		6		ブロック舗装工	整正状況	400mに1回	代表箇所		
	2	<u> </u>	1.4	。(基層工)	登止认仇	〔整正後〕		木工	2一般施工	一般	1.4	5 (基層工)	<b>金</b> 正 认 优	〔整正後〕	各1枚		
事	般施工	般舗装	14	5 (41)	タックコー	各層毎に1回		工事共通	施施	舗装	14	5 (4)	タックコー	各層毎に1回			
木工事共通編	工	装工			ァ、 プライムコー ト	〔散布時〕		通編	工	工			ァ、 プライムコー ト	〔散布時〕			
3		T			· 幅	1施工箇所に1回		3		1	t		· 幅	1施工箇所に1回	代表箇所		
	2	6			厚さ(基準	〔施工後〕		土木	2	6			厚さ	[施工後]	各1枚		3次元計測技術
土木工事共通編	般	一般舗装工	15	路面切削工	高)	ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は1工事 に1回 [施工後]		· 一 工 事 共 通 編	一般施工	般舗装工	15	路面切削工					を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改 定。

<b>√</b> ≕	-tr:	k-k-	Ø	枝	T 15.		写真管理項目	₩ <b>≖</b>	<i>t</i> ==	- <del>1</del>	fr.k-	<sub>z</sub>   t	支	T 65		写真管理項目		-	⊒८≅∼≠m ⊥∟
// // // // // // // // // // // // //	早	即	采	夜 番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要	쳬ー	章	節	条   1	支 番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	摘要	改訂理由
			7		バーチカルドレー ンエ.	打込長さ	200㎡又は1施工箇所に1回					7		バーチカルドレー ンエ	打込長さ	200㎡又は1施工箇所に1回	代表箇所		
			8		(サンドドレーン	出来ばえ	〔打込前後〕		Ш			8		(サンドドレーン	出来ばえ	〔打込前後〕	各1枚		
3					工) (ペーパードレー				3					上) (ペーパードレー					
土木	2	7 地			ン工) (袋詰式サンドド				土木	2	7 地			ン工) (袋詰式サンドド					
工事	般施	地盤改良			レーン工)				工事	般施	eta m.			レーン工)					
共通	施工	良工			締固め改良工	杭径	200㎡又は1施工箇所に1回		共通	施工	良工			締固め改良工	杭径	200㎡又は1施工箇所に1回			
編					(サンドコンパク ションパイルエ)	位置。問隔	〔打込後〕		編					(サンドコンパク ションパイルT)	位置•問隔	〔打込後〕			
					ションパイル工)	工匠   旧附			Ш					ションパイル工)					
						砂の投入量	全数量 〔打込前後〕		Ш						砂の投入量	全数量 〔打込前後〕			
					固結工		1施工箇所に1回						1	固結工		1施工箇所に1回	代表箇所		
					(粉末噴射攪拌 工)	位置・間隔杭	〔打込後〕		Ш					(粉末噴射攪拌 工)	位置・間隔杭 ス	〔打込後〕	各1枚		
					(高圧噴射攪拌 工)	生			Ш					(高圧噴射攪拌	往				
3					(スラリー攪拌		1施工箇所に1回		3					(スラリー攪拌		1施工箇所に1回	1		
土木	2	7 地			⊥) (生石灰パイル	深度			土木	2	7 地			上) (生石灰パイル	深度				3次元計測技術 を用いた出来形
工事	般施	盤改良	9	1	工)		〔打込前後〕		工事	一般施丁	盤改	9	1	工)		〔打込前後〕			管理要領 (案)
,共通編	施工	良工					ただし、 (スラリー攪拌工) において「3次元計測技術を		共通	施工	良工								の策定による改 定。
編							用いた出来形管理要領(案)		編										
							第8編固結工(スラリー撹拌工)編」により出来形管理資		Ш										
							料を提出する場合は、出来形 管理に関わる写真管理項目を		Ш										
							省略できる。		╙										
					固結工		1,000㎡~4,000㎡につき 1 回、又は施工延長40m(測点												
3							間隔		3										
	2	7			(中層混合処理)		25mの場合は50m) につき1 回。		+	2	7								
木工工	一般	盤	9	2		施工厚さ幅	〔施工厚さ 施工中〕 〔幅 施工後〕		木工工	— 般	盤	9							新工種追加
土木工事共通編	施一	·地盤改良工					ただし、「3次元計測技術を		事共	2一般施工	改良								771 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1
通編		工					用いた出来形管理要領 (案)」により出来形管理資		共通編		エ								
							料を提出する場合は、出来形 管理に関わる写真管理項目を		Ш										
							省略できる。			Щ			_						
土木	2	10			土留・仮締切工	亦丛相3m	40m又は1施工箇所に1回		土木	2	10			土留・仮締切工	亦丛扫3m	40m又は1施工箇所に1回	代表箇所		
工	一般施士	仮	5	1	(11を図を与)	変位根入長				般	仮瓢	5	1	(114图4六)	変位根入長	(tr:3 m)	久 1 thr		
工事共通	施工	江 二			(H鋼杭) (鋼矢板)	*\- =.	〔打込前〕 全数量		工事共通	一般施工	成 工			(H鋼杭) (鋼矢板)	₩. 目.	〔打込前〕 全数量	各1枚		
通編						数量	〔打込後〕		通				1		数量	〔打込後〕			

,—	<u>.</u> ],	tota .	. k	<del>-</del>		写真管理項目	I-1	_		tota	, 村	<u> </u>		写真管理項目		II. —	71 72 77
編		節	12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要	編	章	節	条置	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	摘要	改訂理由
П				植生工 (植生基材吹付 工)	清掃状況	200m又は1施工箇所に1回 〔清掃後〕						植生工 (植生基材吹付 工)	清掃状況	200m又は1施工箇所に1回 〔清掃後〕	代表箇所 各1枚		
3 土 木 エ	2	14		(客土吹付工)	ラス鉄網の重 ね合せ寸法	200m又は1施工箇所に1回 〔吹付前〕		3 土木エ	2	14		(客土吹付工)	ラス鉄網の重 ね合せ寸法	200m又は1施工箇所に1回 〔吹付前〕			
小工事共通短	般施 工	法 面 工	2	2	厚さ(検測 孔)	200㎡又は1施工箇所に1回 〔吹付後〕		上事共通短	般施工	法面工	2 2	2	厚さ(検測 孔)	200㎡又は1施工箇所に1回 〔吹付後〕			
神					法長	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 1工事に1回		編					法長	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 1工事に1回			
					材料使用量	〔混合前〕							材料使用量	〔混合前〕			
3				吹付工 (コンクリート)	清掃状況	200m又は1施工箇所に1回 〔清掃後〕		3				吹付工 (コンクリート)	清掃状況	200m又は1施工箇所に1回 〔清掃後〕	代表箇所 各1枚		
土木工事共通	2 一 般	14 法 面	3	(モルタル)	ラス鉄網の重ね合せ寸法	200m又は1施工箇所に1回 〔吹付前〕		土木工事	2 一般	法	3	(モルタル)	ラス鉄網の重 ね合せ寸法	200m又は1施工箇所に1回 〔吹付前〕			
共通編	2000年	Ī			法長	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		共通編	施工	工			法長	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕			
Ц					厚さ(検測 孔)	200㎡又は1施工箇所に1回 〔吹付後〕				Ц	$\downarrow$		厚さ(検測 孔)	200㎡又は1施工箇所に1回 〔吹付後〕	(A = 於元		
3				法枠工	法長、幅、	200m又は1施工箇所に1回		3				法枠工	法長、幅、	200m又は1施工箇所に1回	代表箇所		
土	2 一	14 法	1	(現場打法枠工)	高さ、	〔施工後〕 ただし、「3次元計測技術を		土木工	2 一 点几	14 法	4 1	(現場打法枠工)	高さ、	〔施工後〕	各1枚		3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案) の策定による改
个工事共通編	施工	面工	4	(現場吹付法枠工)	枠中心間隔	用いた出来形管理要領 (案)」に基づき写真測量に 用いた画像を納品する場合に は、写真管理に代えることが 出来る。		事共通編	般施工	面工	# 1	(現場吹付法枠 工)	枠中心間隔				ででは の策定による改 定。
3 土木工事共通	2 一般施	14 法面工	4	法枠工 2	法長	200m又は1施工箇所に1回		3 土木工事#	2一般施工	14 法面工	4 2	法 <b>枠</b> 工 2	法長	200m又は1施工箇所に1回	代表箇所		
通編	工			(プレキャスト法 枠工)		〔施工後〕		共通編	工	Τ.		(プレキャスト法 枠工)		〔施工後〕	各1枚		
5 土木工事共通	2 一	14 法	6	アンカーエ	削孔深さ	1施工箇所に1回		土木工	2一般施工	14 法	6	アンカーエ	削孔深さ	1施工箇所に1回	代表箇所		
事共通編	施工	面工		/	配置誤差	〔削孔後〕 1 施工箇所に1回 〔施工後〕		事共通編	施工	面工	J	,	配置誤差	〔削孔後〕 1施工箇所に1回 〔施工後〕	各1枚		

	Т		夶		I	写真管理項目			1	<b>-</b> 1	枯			写真管理項目	Ī		
編章	至 餌	条	枝番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	摘要	編	章	節	条 ┃ 枝番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	摘要	改訂理由
3 土木工事共通編	2一般施工	.5 雜 1	1	場所打擁壁工	裏込厚さ	120m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 1工事に1回		3 土木工	2一般施	15 擁	1	場所打擁壁工	裏込厚さ	120m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	代表箇所		3次元計測技術 を用いた出来形 管理要領(案)
					厚さ 幅高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を 用いた出来形管理要領 (案)」による場合は1工事 に1回 〔型枠取外し後〕		事共通編	施工	壁工	1		厚さ幅高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕		0)	音母安頃(采) の策定による改 定。
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 雍 2 正		プレキャスト擁壁 エ	据付状況	200m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕		3 土木工事共通編	2一般施工	15 擁壁工	2	プレキャスト擁壁 エ	据付状況	200m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	代表箇所		
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 雜 <u>工</u>		盛土補強工 (補強土(テール アルメ)壁工法) (多数アンカー式 補強土工法) (ジオテキスタイ ルを用いた補強土 工法)	高さ鉛直度	120m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		通編	2一般施工	15 擁壁工	3	盛土補強工 (補強土 (テール アルメ) 壁工法) (多数アンカー式 補強土工法) (ジオテキスタイ ルを用いた補強土 工法)	高さ鉛直度	120m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚		
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 雍 4 正		井桁ブロック工	裏込厚さ 	120m又は1施工箇所に1回 [施工中] 200m又は1施工箇所に1回 [施工後]		3 土木工事共通編	2一般施工	15 擁壁工	4	井桁ブロック工	裏込厚さ 	120m又は1施工箇所に1回 [施工中] 200m又は1施工箇所に1回 [施工後]	代表箇所 各1枚		
3 土木工事共通編				浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船) (グラブ船) (バックホウ浚渫 船)	運転状況	1施工箇所に1回 〔施工後〕		通編	2一般施工	16 浚渫工	1	浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船) (グラブ船) (バックホウ浚渫 船)	運転状況	1施工箇所に1回 [施工後]	代表箇所 各1枚		
3 土木工事共通編	2 一般施工	8 末 坂 工		床版・横組工	幅厚さ鉄筋の 有効高さ鉄筋 のかぶり鉄筋 間隔	1 スパンに 1 回 〔打設前後〕		3 土木工事共通編	2一般施工	18 床版工	1	床版・横組工	幅厚さ鉄筋の 有効高さ鉄筋 のかぶり鉄筋 間隔	<ul><li>1スパンに1回</li><li>〔打設前後〕</li></ul>	代表箇所 各1枚		

	_					- 1.00 - · ·		_	_			-					_
編	章	節 条	技番	工種		写真管理項目	摘要	編	章	節	条 枝番	工種		写真管理項目	#6-M 67 1	摘要	改訂理由
		.,	番		撮影項目	撮影頻度[時期]	*** ***		·		番		撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	***	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
9道路編					原寸状況	1脚に1回又は1工事に1 回		H					医十小小	1脚に1回又は1工事に1	代表箇所		
	2	3				回 〔原寸時〕		Ш	9	3			原寸状況	□ [原寸時]	各1枚		
	3 橋梁下	工			district to the	海宁		9	る橋	工				適宜			
	梁	場 製	3	<b>判</b>	製作状況	〔製作中〕		追路	3橋梁下部	場制	3	鋼製橋脚製作工	製作状況	〔製作中〕			
編	١.	作			仮組立寸法	1脚に1回又は1工事に1		編	下	作			仮組立寸法	1脚に1回又は1工事に1	1 1		
	部	エ				回		H	司)	工				回	1 1		
					(撮影項目は 適宜)	〔仮組立時〕		H					(撮影項目は 適宜)	〔仮組立時〕	1 1		
			+		厚さ	全数量		Н		1	+		厚さ	全数量	代表箇所		
					天端幅(橋軸方	 〔型枠取外し後〕		H					天端幅(橋軸方		各1枚		
					向)			H					向)	(空件収/下し扱)			
	3					ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領		9道路編	3			橋台躯体工					3次元計測技術
9 诸	橋	6 橋			敷幅(橋軸方 向)	を用いた出来形管理要領 (案)」により出来形管理 資料を提出する場合は、出			橋	6 橋	8		敷幅(橋軸方		1 1		を用いた出来形
道路編	梁	台	8	橋台躯体工	[P] <i>)</i>	資料を提出する場合は、出		路	梁下	台			向)		1 1		管理要領(案) の策定による改
編	3橋梁下部	工			高さ	来形計測状況を1工事1回		編	部	工			高さ				定。
					向で 胸壁の高さ			H					向で 胸壁の高さ				, _ \$
					天端長			H					天端長		1 1		
					敷長			H					敷長				
				橋脚躯体工	厚さ	全数量		П				橋脚躯体工	厚さ	全数量	代表箇所		
					天端幅	〔型枠取外し後〕		H				(張出式)	天端幅	〔型枠取外し後〕	各1枚		
	3	7				ただし、「3次元計測技術		9 道路編 部	3	7					1 1		3次元計測技術
3 3	橋	R C			敷幅	を用いた出来形管理要領 (案)」により出来形管理			橋	R			敷幅	<b>数幅</b>	1 1		を用いた出来形
道路編	3 橋梁下	橋	9		及八田	資料を提出する場合は、出		路	梁	橋	9 1		为人们出		1 1		管理要領(案)
編	部	橋脚一				来形計測状況を1工事1回		編	部	脚					1 1		の策定による改定。
		工			高さ			H	1.11	エ			高さ				<b>1</b>
					天端長			H					天端長				
$\vdash$			+	橋脚躯体工	敷長 厚さ	全数量		Н			+	橋脚躯体工	敷長 厚さ	全数量	代表箇所		
				情 四 4 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	字 C			H				<b>简</b> 网	序で	主数単  〔型枠取外し後〕ただし、	各1枚		
		7				<ul><li>〔型枠取外し後〕ただし、</li><li>「3次元計測技術を用いた</li></ul>	11	H		7		1		「3次元計測技術を用いた			
9	3	Ŕ		(ラーメン式)	天端幅	出来形管理要領(案)」に		9	3 極	Ŕ		(ラーメン式)	天端幅	出来形管理要領(案)」に	1 1		
道	梁	C	9 2	2		より出来形管理資料を提出 する場合は、出来形計測状		道	梁	C	9 2		ノ CPIIII Y 田	より出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状	1 1		
編	3橋梁下部	橋脚工				況を		道路編	3橋梁下部	脚				況を			
1,,,,,	部	工			敷幅	高さ			当	Ĭ			敷幅	1工事1回	1 1		
					高さ			H					高さ		1 1		
					長さ			Щ					長さ				
9	3 橋梁下	鋼		橋脚フーチングエ	恒	全数量		9	3橋梁下部	鋼		橋脚フーチング工	恒	全数量	代表箇所		
道	微梁	製	9 1		17世	土妖里		道路	惝梁	製	9 1		'l'H	土	1 1		
9 道路編	下	鋼製橋脚工			高さ	〔型枠取外し後〕		路編	下	橋脚		( I 型・T型)	高さ	〔型枠取外し後〕	各1枚		
	_				長さ			/IJIIII	部	T			長さ		/ \ M		
9 道路編	3	鎦		橋脚フーチング工	1		数量	9	3橋梁下部	錮		橋脚フーチングエ			代表箇所		
	橋沙	製	9 6		幅	全数量		道路	橋沙	製	a a		幅	全数量	I		
路	下	鋼製橋脚工						路編	下	橋脚					I		
孙田	部	脚 工		(門型)	高さ	〔型枠取外し後〕		利舶	部	T.		(門型)	高さ	〔型枠取外し後〕	各1枚		